



2022年版・環境活動レポート

(対象期間 2021年10月 ～ 2022年9月)

2023年1月19日 発行

(株)富士インダストリーズ

環境経営方針

〈基本理念〉

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動する。

〈基本方針〉

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

1、事業を通じた地球環境保護

全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
当社の仕入販売において、安全に配慮した上で環境負荷の少ない手段で製品・サービスを提供する。

2、資源・エネルギーの効率的利用

資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。

3、環境関連法規の遵守

環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。

4、継続的環境改善の実施

環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。

- ① 省資源、省エネルギーの推進 [CO2排出抑制]
- ② 廃棄物の削減
- ③ 水・電気・ガス使用量の削減

5、環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い
また、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

6、環境保護事業への参入

当社の基本理念に沿った環境保護に積極的な企業への出資・販売協力を推進します。

令和元年12月26日
株式会社富士インダストリーズ
理事 宮田 英正

【2】事業概要

1. 会社概要

- ①会社名 : (株)富士インダストリーズ
 ②代表者名 : 理事 宮田 英正
 ③ECO21対象範囲 : 神戸本社 : 神戸市中央区明石町32 明海ビル9階
 東京支店 : 東京都港区新橋2丁目5-5 新橋2丁目MTビル
 中部支店 : 名古屋市中区栄1-2-7名古屋東宝ビル3階
 宇都宮営業所 : 栃木県宇都宮市不動前2丁目2-33 スズキビルⅢ2-C
 大阪営業所 : 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第1ビル 6階
 各務原営業所 : 各務原市蘇原三柿野町299-33 多賀ビル2階
- ④本社 : 神戸本社
 ⑤設立 : 1949年6月
 ⑥資本金 : 9900万円 (全社)
 ⑦売上額 : 14,351百万円 (2022年9月期) (全社)
 ⑧従業員数 : 114名 (神戸本社48名、東京支店29名、中部支店37名)
 ⑨地域指定 : 商業地域
 ⑩敷地面積 : 神戸本社1,894.82㎡、東京支店794.24㎡、中部支店2,410.82㎡
 大阪営業所8,440㎡、宇都宮営業所600.33㎡
 ⑪建物面積 : 賃貸床面積 神戸本社627㎡、東京支店532㎡、中部支店462㎡
 大阪営業所108㎡、宇都宮営業所59.62㎡
- 環境管理責任者 : 高嶋 茂
 ○連絡先 : TEL 078-331-2521 、 FAX 078-332-1485
 ○メールアドレス : s.takashima@ficjpn.co.jp

2. 沿革

- 1946年5月 : 創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
 1949年6月 : 株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
 1956年5月 : 東京支店開設
 1959年5月 : ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
 1986年1月 : 株式会社富士インダストリーズと称号を変更
 1995年1月 : 阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
 2006年8月 : 東京支店現在地に移転
 2011年5月 : バンコックに関連会社としてタイ法人SIAM FUJI INDUSTRIES CO., LTD.を設立
 2015年7月 : ロンドンに子会社として英国法人FUJI INDUSTRIES UK LTD. を設立

3. 製品概要

- ◇航空機用部品、材料等の輸入
 ◇ワインの輸入販売

4. 事業形態

- (1)事業年度 : 10月 ~ 翌年9月
 (2)年間稼働日数 : 242日
 (3)就業形態 : 1シフト
 (4)就業時間 : 9:00~17:30(神戸本社)、9:15~17:45(東京支店、中部支店)
 (7.5時間労働)

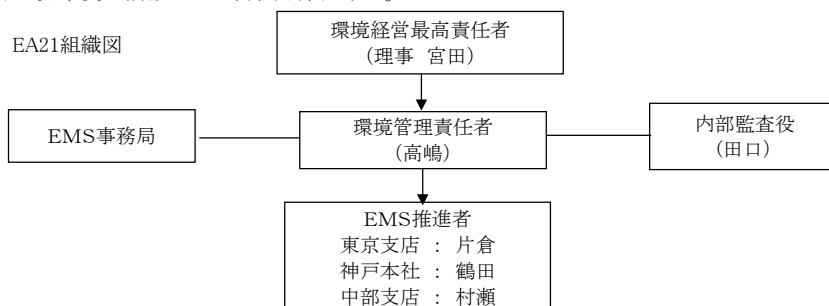
【3】敷地概要

◇都市計画法での用途地域指定：商業地域

<p>神戸本社 商業地域</p>		
<p>東京支店 商業地域</p>		<p>区域区分 市街化区域</p> <p>用途地域 商業地域</p> <p>容積率 700%</p> <p>建ぺい率 80%</p> <p>防火準防火</p> 
<p>中部支店 商業地域</p>		<p>市街化区域及び市街化調整区域 市街化区域</p> <p>用途地域区分 商業地域</p> <p>容積率(%) 800</p> 
<p>宇都宮営業所 準工業地域</p>		<p>用途地域凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1種住居地域 第2種住居地域 準住居地域 近隣商業地域 商業地域 準工業地域 
<p>大阪営業所 商業地域</p>		<p>商業地域 建ぺい率：80% 容積率：1000% 2019年度</p> 
<p>各務原営業所 商業地域</p>		<p>用途地域</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 用途地域 <input checked="" type="checkbox"/> 近隣商業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 商業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 準工業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 工業地域 <input checked="" type="checkbox"/> 工業専用地域 

【4】エコアクション21実施体制の構築

(1) 支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。
毎年11月に次年度の活動および計画を策定する。



2022年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 △: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	片倉

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2019年度実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目 的			第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2019年度実績	2021年度 9月期				2022年度 9月期	2023年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底 2%削減 (基準: 2017年度実績)	産業廃棄物 一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞆を活用してレジ袋を削減。	17820L	1%削減 (17642L)	1%削減 (17642L)	1%削減 (17642L)	片倉	目標	4410 L	64%	X	4410 L	58%	X	4410 L	52%	X	4410 L	39%	X				
									実績	5,985 L	エネルギー 管理表 参照		6,255 L	エネルギー 管理表 参照		5,805 L	エネルギー 管理表 参照		6,300 L	エネルギー 管理表 参照					
省資源	コピー用紙購入量の 2%削減 (基準: 2017年度実績)	コピー購入用紙 (バーজন紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクター利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種 申請、出張報告などの電子化)	1624kg/年	目標維持 (1624kg)	目標維持 (1624kg)	目標維持 (1624kg)	片倉	目標	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	406Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	406Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	406Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	406Kg	0				
									実績	200Kg	151%		160Kg	161%		240Kg	141%		200Kg	151%					
	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提 示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目 標は設定せ ず。	管理外の為目 標は設定せ ず。	管理外の為目 標は設定せ ず。	片倉	目標	節水表示の徹底			節水表示の徹底			節水表示の徹底			節水表示の徹底						
実績																									
省エネ	電気使用量の削減 2%削減 CO ₂ 排出量の削減 (基準: 2017年度実績)	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進め る。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	65576kwh/年	目標維持 (65576kg)	目標維持 (65576kg)	目標維持 (65576kg)	片倉	目標	16,394 kwh	99%	△	16,394 kwh	92%	△	16,394 kwh	105%	0	16,394 kwh	84%	△				
									実績	16,584 kwh	エネルギー 管理表 参照		17,715 kwh	エネルギー 管理表 参照		15,495 kwh	エネルギー 管理表 参照		19,021 kwh	エネルギー 管理表 参照					
	ガス使用量の削減 2%削減 CO ₂ 排出量の削減 (基準: 2017年度実績)	事務所冷暖房の使用	1) 冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 2) カジュアルフライデーの通年化 3) 社用車の適正な利用を促進	13373m ³ /年	目標維持 (13373m ³)	目標維持 (13373m ³)	目標維持 (13373m ³)	片倉	目標	2,277 m ³	142%	0	3,206 m ³	94%	△	2,006 m ³	157%	0	5,884 m ³	139%	0				
実績	1,320 m ³	エネルギー 管理表 参照	3,407 m ³	エネルギー 管理表 参照	865 m ³	エネルギー 管理表 参照	3,606 m ³	エネルギー 管理表 参照																	
輸送回数の減少および梱包 用資材の削減 2%削減 (基準: 2017年度実績)	クレーム/不具合率の 減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレ ーム台帳の電子化済み)	2.170%	目標維持 (2.170%)	目標維持 (2.170%)	目標維持 (2.170%)	片倉	目標	2.17 %	52%	X	2.17 %	58%	X	2.17 %	21%	X	2.17 %	79%	△					
実績	3.210 %		3.080 %		3.880 %		2.620 %																		
有益な テーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法お よび毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	目標は設定せ ず、実績の管 理を行う。	片倉	目標	実施		実施			実施			実施							
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	片倉	目標																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								取引先への訪問活動が徐々に解除され、ガソリン消費も増えた月があった。			〈コメント〉 昨年よりも廃棄量が多い。昨 年在宅勤務期間だったことも あり紙使用量が増えたためと 考えられる。			〈コメント〉 昨年よりも廃棄量、ガス電気 使用量が多い。昨年の在宅勤 務期間に比べ出社日が増えた ためと考えられる。			〈コメント〉 昨年よりも廃棄量が多い。 コピー用紙の使用量が削減さ れているが、依然として廃棄 量が多い。書類電子化が進ん でいる一方で一般廃棄物の量 を抑える必要がある。							
年度	環境経営最高責任者コメント欄								廃棄量やガス・電気使用量の増加要因が在宅勤務より出社勤務が増えたことによるものであれば、来期の目標値は出社勤務前提で設定すること。												照査: 環境管理責任者				

2022年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 △: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	村瀬

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2017年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目的			第1四半期			評価	第2四半期			評価	第3四半期			評価	第4四半期			評価
				2019年 9月期	2021年度 9月期	2022年度 9月期	2023年度 9月期			10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	産業廃棄物 一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	795Kg	目標維持 (787kg)	目標維持 (787kg)	目標維持 (787kg)	村瀬	目標	193 kg	98%	△	193 kg	98%	△	193 kg	98%	△	193 kg	103%	0				
									実績	196 kg	100%		196 kg	100%		196 kg	100%		187 kg	100%					
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大 (各種申請、出張報告などの電子化)	2095kg/年	目標維持 (2095kg)	目標維持 (2095kg)	目標維持 (2095kg)	村瀬	目標	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	524Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	524Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	524Kg	0	紙類の削減 使用済み封筒の再利用	524Kg	0				
									実績	211Kg	160%		420Kg	120%		200Kg	162%		460Kg	112%					
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	村瀬	目標	節水表示の徹底			節水表示の徹底			節水表示の徹底			節水表示の徹底						
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。 (窓際のダウンライトの間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	33746kwh/年	目標維持 (33746kwh)	目標維持 (33746kwh)	目標維持 (33746kwh)	村瀬	目標	8,437 kwh	91%	△	8,437 kwh	100%	△	8,437 kwh	93%	△	8,437 kwh	85%	△				
									実績	9,187 kwh	108%		8,458 kwh	100%		9,029 kwh	107%		9,668 kwh	115%					
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守 (冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5752m ³ /年	目標維持 (5752m ³)	目標維持 (5752m ³)	目標維持 (5752m ³)	村瀬	目標	575 m ³	14%	X	1,150 m ³	106%	0	1,265 m ³	115%	0	2,761 m ³	108%	0				
実績									1,068 m ³	18%	1,077 m ³		18%	1,073 m ³		18%	2,535 m ³		44%						
輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	5.316%	目標維持 (5.316%)	目標維持 (5.316%)	目標維持 (5.316%)	村瀬	目標	5.316 %	116%	0	5.316 %	83%	△	5.316 %	49%	X	5.316 %	78%	△					
								実績	4.47 %			6.21 %			8.03 %			6.510 %							
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			村瀬	目標	実施		実施		実施		実施									
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講			村瀬	目標																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								IT機器の活用が進むにつれて省資源への取り組みも進んできている。			環境経営最高責任者コメント欄			環境経営最高責任者コメント欄			環境経営最高責任者コメント欄							
年度	環境経営最高責任者コメント欄								コピー用紙購入量を年間通して削減できたことは、ペーパーレス化が進んだことによる良い結果でもあり、それを前提とした目標値を設定し、今後も達成できるよう確認すること。			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者				

2022年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

χ:目標の達成度
 ○: 100% ≤ χ
 △: 70% ≤ χ < 100%
 ×: χ < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	鶴田

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2019年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目的			第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2019年度 9月期	2021年度 9月期				2022年度 9月期	2023年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	産業廃棄物 一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	897kg/年	目標維持 (897Kg)	目標維持 (897Kg)	目標維持 (897Kg)	鶴田	目標	224 Kg	101%	0	224 Kg	101%	0	224 Kg	97%	△	224 Kg	99%	△				
									実績	222 Kg	エネ/キ-管理表参照	222 Kg	エネ/キ-管理表参照	230 Kg	エネ/キ-管理表参照	227 Kg	エネ/キ-管理表参照								
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	1775kg/年	目標維持 (1775Kg)	目標維持 (1775Kg)	目標維持 (1775Kg)	鶴田	目標	紙類の削減 444Kg 使用済み封筒の再利用	0	紙類の削減 444Kg 使用済み封筒の再利用	0	紙類の削減 443.63Kg 使用済み封筒の再利用	0	紙類の削減 443.6Kg 使用済み封筒の再利用	0								
									実績	120Kg 173%	120Kg 173%	160Kg 164%	120Kg 173%												
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底									
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	46448kwh/年	目標維持 (46448Kwh)	目標維持 (46448Kwh)	目標維持 (46448Kwh)	鶴田	目標	11,612 kwh 97%	△	11,612 kwh 115%	0	11,612 kwh 89%	△	11,612 kwh 58%	X								
									実績	11,917 kwh エネ/キ-管理表参照	9,887 kwh エネ/キ-管理表参照	12,880 kwh エネ/キ-管理表参照	16,523 kwh エネ/キ-管理表参照												
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	11.29%	目標維持 (11.29%)	目標維持 (11.29%)	目標維持 (11.29%)	鶴田	目標	11.29 % 169%	0	11.29 % 165%	0	11.29 % 178%	0	11.29 % 174%	0								
									実績	3.51 %	3.93 %	2.53 %	2.90 %												
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施		実施		実施		実施									
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	鶴田	目標																
									実績																
上 期	環境経営最高責任者コメント欄								〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉							
	コロナ感染防止対策に伴う電気使用量の増加が見られたが、リサイクル・省エネを意識した環境活動を継続すること。								電気使用量の増加について、コロナウイルスの換気を行っており室温調整をしたことが原因とみられる。目標設定は時期によって変更する可能性はあるのか検討。			全ての目標数値について、達成している。引き続き継続したい。			第一四半期同様、電気使用量の増加と廃棄物の増加が見受けられる。6月に産業廃棄物処理をしたことが原因かと考える。			季節的に電気使用量が一番多い時期となった。第4半期のみの目標設定を検討したい。							
年 度	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							
	電気使用量が増加した要因として、時差出勤や会議室の利用頻度増加による補助空調の利用増もあると考えられ、利用時の適温設定や利用後の運転停止をこまめに行うことなどを奨励すること。																								

2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 ○: 100% ≤ X
 △: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	片倉

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年度実績を 基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目 的			第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2022年度実績	2023年度 9月期				2024年度 9月期	2025年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底 2%削減 (基準: 2017年度実績)	産業廃棄物 一般廃棄物	・排出ごみの分別を徹底する。 ・鞆を活用してレジ袋を削減。	23845L	目標維持 (23845L)	目標維持 (23845L)	目標維持 (23845L)	片倉	目標	5961 L	200%	評価	5961 L	200%	評価	5961 L	200%	評価	5961 L	200%	評価				
									実績	△ L	エネルギー 管理表 参照		△ L	エネルギー 管理表 参照		△ L	エネルギー 管理表 参照		△ L	エネルギー 管理表 参照					
省資源	コピー用紙購入量の 2%削減 (基準: 2017年度実績)	コピー購入用紙 (バージン紙)	・両面コピー・縮小コピー使用の徹底 ・Web会議、プロジェクト利用の促進 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	800kg/年	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	目標維持 (800kg)	片倉	目標	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	200Kg	200%	評価	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	200Kg	200%	評価	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	200Kg	200%	評価	紙類の削減 使用済み封筒の 再利用	200Kg	200%	評価
									実績	△	200%	△		200%	△	200%		△	200%						
省エネ	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	管理外の為 目標は設定せず。	片倉	目標	節水表示の徹底		評価	節水表示の徹底		評価	節水表示の徹底		評価	節水表示の徹底		評価				
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 2%削減 CO ₂ 排出量の削減 (基準: 2017年度実績)	事務所電気の使用	1) 室内不在時、昼休み時の消灯励行 2) 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 3) 省エネパソコンへの代替を引続き進める。 4) 照明の一部で間引きを継続する。	68815kwh/年	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	目標維持 (68815kg)	片倉	目標	17,204 kwh	200%	評価	17,204 kwh	200%	評価	17,204 kwh	200%	評価	17,204 kwh	200%	評価				
									実績	△ kwh	エネルギー 管理表 参照		△ kwh	エネルギー 管理表 参照		△ kwh	エネルギー 管理表 参照		△ kwh	エネルギー 管理表 参照					
									目標	1,840 m ³	200%	評価	2,759 m ³	200%	評価	1,380 m ³	200%	評価	3,219 m ³	200%	評価				
実績	△ m ³	エネルギー 管理表 参照	△ m ³	エネルギー 管理表 参照	△ m ³	エネルギー 管理表 参照	△ m ³	エネルギー 管理表 参照																	
省エネ	輸送回数の減少および梱包 用資材の削減 2%削減 (基準: 2017年度実績)	クレーム/不具合率の 減少	1) クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.20%	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	目標維持 (3.20%)	片倉	目標	3.20 %	200%	評価	3.20 %	200%	評価	3.20 %	200%	評価	3.20 %	200%	評価				
									実績	△ %			△ %			△ %			△ %						
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法 対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	目標は設定せず、 実績の管理を行う。	片倉	目標	実施		評価	実施		評価	実施		評価	実施		評価				
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・EMS関連教育の実施 ・緊急事態対応訓練・教育 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	片倉	目標			評価			評価			評価			評価				
									実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								(コメント)			(コメント)			(コメント)			(コメント)							
	環境経営最高責任者コメント欄								照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者							
年度	環境経営最高責任者コメント欄								照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者							
	環境経営最高責任者コメント欄								照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者							

2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

X: 目標の達成度
 O: 100% ≤ X
 △: 70% ≤ X < 100%
 ×: X < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	村瀬

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者(誰が)	目標/実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目的			第1四半期			評価	第2四半期			評価	第3四半期			評価	第4四半期			評価
				2022年 9月期	2023年度 9月期	2024年度 9月期	2025年度 9月期			10月	11月	12月		1月	2月	3月		4月	5月	6月		7月	8月	9月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	産業廃棄物 一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる ・ペットボトルの分別を徹底する	775Kg	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	目標維持 (775kg)	村瀬	目標	194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%		194 kg	200%					
									実績																
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化)	1291kg/年	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	目標維持 (1291kg)	村瀬	目標	紙類の削減 323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用		紙類の削減 323Kg	紙類の削減 使用済み封筒の再利用					
									実績		200%		200%		200%		200%		200%						
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示した。 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	村瀬	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底							
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・照明の一部で間引きを継続する。(窓際のダウンライトの間引き) ・使用していないパソコン、ディスプレイ等の電源OFF励行	36342kwh/年	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	目標維持 (36342kwh)	村瀬	目標	9,086 kwh	200%		9,086 kwh	200%		9,086 kwh	200%		9,086 kwh	200%					
									実績																
	ガス使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所冷暖房の使用	・冷暖房の適正温度厳守(冷房: 28℃、暖房: 22℃) 期間 冷房6月~9月 暖房12月~3月 ・使用していない部屋の冷暖房節約	5753m ³ /年	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	目標維持 (5753m ³)	村瀬	目標	575 m ³	200%		1,151 m ³	200%		1,266 m ³	200%		2,761 m ³	200%					
実績																									
輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み) ・社用車の新型更新を行う	6.31%	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	目標維持 (6.31%)	村瀬	目標	6.31 %	200%		6.31 %	200%		6.31 %	200%		6.31 %	200%						
								実績																	
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。			村瀬	目標	実施		実施		実施		実施									
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講			村瀬	目標																
									実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄							<コメント>			<コメント>			<コメント>			<コメント>								
	環境経営最高責任者コメント欄							照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者			照査: 環境管理責任者								

2023年9月期環境目標及び環境活動実施計画書

χ: 目標の達成度
 ○: 100% ≤ χ
 △: 70% ≤ χ < 100%
 ×: χ < 70%

承認	点検	作成
高嶋	小林	鶴田

[様式-4]

項目	環境目的 (環境方針)	課題 (何を)	具体的方法 (どのように)	2022年9月の平均を基準(BM)とした達成基準(どこまで)				責任者 (誰が)	目標 / 実績	日 程 (いつまでに)															
				基準(BM)	目 標		目的			第1四半期			評 価	第2四半期			評 価	第3四半期			評 価	第4四半期			評 価
					2022年度 9月期	2023年度 9月期				2024年度 9月期	2025年度 9月期	10月		11月	12月	1月		2月	3月	4月		5月	6月	7月	
廃棄物	排出ゴミ分別の徹底	産業廃棄物 一般廃棄物	・カタログ、新聞紙等の廃棄物の分別を開始し、リサイクルに取り組む事で廃棄物を減少させる	901kg/年	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	目標維持 (901Kg)	鶴田	目標	225 Kg	200%		225 Kg	200%		225 Kg	200%		225 Kg	200%					
									実績																
省資源	コピー用紙購入量の削減	コピー購入用紙 (バージン紙)	・裏紙の再利用 ・電子承認システムの適用範囲拡大(各種申請、出張報告などの電子化) ・プロジェクト使用やWeb会議の更なる活用によりペーパーレス化を全社推進	520kg/年	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	目標維持 (520Kg)	鶴田	目標	紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用		紙類の削減 130Kg 使用済み封筒 の再利用							
									実績		200%		200%		200%		200%								
省資源	水使用量の削減	水使用量	・トイレや給湯室に節水協力の張り紙を提示 ・トイレ擬似音の活用	-	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	管理外の為目標は設定せず。	鶴田	目標	節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底		節水表示の徹底									
									実績																
省エネ	電気使用量の削減 二酸化炭素 排出量の削減	事務所電気の使用	・コストだけではなくエコにつながる機器の導入 ・空調の適温化(冷房28度程度、暖房22度程度) ・社用車の代替	51207kwh/年	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	目標維持 (51207Kwh)	鶴田	目標	12,802 kwh	200%	10,241 kwh	200%	12,802 kwh	200%	15,362 kwh	200%								
									実績																
省エネ	輸送回数の減少および梱包用資材の削減	クレーム/不具合率の減少	・クレーム台帳への記入、管理(クレーム台帳の電子化済み)	3.22%	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	目標維持 (3.22%)	鶴田	目標	3.22 %	200%	3.22 %	200%	3.22 %	200%	3.22 %	200%								
									実績																
有益なテーマ	化学物質の管理	化審法および毒劇法対象物質の選別	社内システムにMSDSを入力し、化審法および毒劇法の対象物質か否かを判定する。	なし	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	目標は設定せず、実績の管理を行う。	鶴田	目標	実施		実施		実施		実施									
									実績																
教育	環境教育の充実	EMS関連教育 特定作業員への教育 手順書の説明 法規制の遵守	・自覚教育の実施 ・JIS-Q-9100の教育推進	-	100%受講	100%受講	100%受講	鶴田	目標																
									実績																
上期	環境経営最高責任者コメント欄								〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉			〈コメント〉							
	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							
年度	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							
	環境経営最高責任者コメント欄								照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者			照査：環境管理責任者							

【6】環境関連法規の一覧

No.	法令等 法条例の名称	条 項 (内容及 び基準)	適用される施設・物質等と該当する 環境影響内容 (適用施設・業務内容等)	当該要求事項 (規制事項)	遵守状況	評価 結果	確認時期	確認者
1	廃棄物処理及 び清掃に関する法律	第14条 (産業廃 棄物処理 業)	◇許可を受けた廃棄物処理業者との 契約をすること。 ◇産業廃棄物の処理にあたっては、 廃棄物の処理及び清掃に関する 法律に基づき、収集運搬業者及 び処分業者それぞれと委託契約を 締結している。	ビル管理会社 及び同委託業 者との契約 書・業者の許 可証の確認	契約書・許 可書の確認	○	2022年5月27日	片倉
2	消防法 東京都震災対 策条例 火災防止条例	第五十条 の三	新橋2丁目MTビル	火災訓練参加 防火管理者の 選定	火災訓練実 施記録 防火管理者 (伊藤支店 長)選定、 確認	○	2022年5月27日	片倉
3	消防法 神戸市火災予 防条例	第8条1項 神戸市火 災予防条 例 第50 条の6	明石町3丁目明海ビル	火災訓練 防火管理者の 選定	火災訓練実 施記録 防火管理者 (添田取締役) の選定	○	2022年5月27日	鶴田
4	名古屋市火災 予防条例	火災予防 条例第4章	栄1-2-7 名古屋東宝ビル	第4章避難及 び防火の管理 等	火災訓練実 施記録 防火管理者 (木村理事 支店長)選 定、確認	○	2022年5月27日	村瀬

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2021年9月30日 環境関連法規制の遵守評価をした結果
違反はありません。また、関係当局からの指摘についても過去3年間ありません。

同様に訴訟についても過去3年間ありません。

【8】環境経営責任者による全体評価と見直し

パンデミックの営業により、一部のテレワークの影響で、ペーパーレス化が進み、
コピー用紙の購入量が減少に転じたが、事務所の電気・ガスの使用量に関しては
人員の増減に関わらず、ビル管理の空調設備の影響が大きく、引き続き使用量が増えないよう、
こまめに管理していくこと。
一部で廃棄物が目標を上回っているので、
ゴミ袋の使用数などを基にした廃棄物目標設定などを引き続き検討すること。

項 目	変更の要否	システムの変更に関する 決定・処置 (改善の機会含む)
環境方針	要(否)	環境方針を継続する。
環境目的・目標	(要)否	今回の3か年計画で目標値を 見直し
環境マネジメントシステムの その他の要素	要(否)	JIS Q 9100(ISO 9001)を 引続き認証継続している。

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

2023/1/10

		単位	2008年 9月期	2009年 9月期	2010年 9月期	2011年 9月期	2012年 9月期	2013年 9月期	2014年 9月期	2015年 9月期	2016年 9月期	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期	2022年 9月期
① 総エネルギー投入量	購入電力（東京）	MJ	980,316	896,211	1,064,294	966,957	895,346	814,848	777,553	765,452	712,282	690,813	623,723	635,193	592,093	628,238
	購入電力（中部）	MJ							315,268	308,367	321,677	330,042	325,039	330,268	363,867	327,290
	購入電力（神戸）	MJ							490,409	472,754	438,074	455,925	464,448	460,319	475,192	503,365
	化石燃料（東京）	MJ	779,414	730,774	1,246,244	986,438	907,607	837,049	720,475	702,338	648,975	706,188	616,302	583,284	341,026	410,236
	化石燃料（中部）	MJ							543,471	511,255	463,256	501,888	534,877	698,105	753,537	445,203
	化石燃料（神戸）	MJ							118,412	117,762	114,040	73,864	72,215	60,049	62,228	73,900
	新エネルギー その他	MJ														
② 総物質投入量	資源投入量	t														
	循環資源投入量	t														
③ 水資源投入量	上水	m ³														
	工業用水	m ³														
	地下水	m ³														
【④ 温室効果ガス排出量】	二酸化炭素（東京）	Kg-CO ₂	78,340	72,585	106,861	89,593	82,701	75,896	72,054	66,566	61,818	63,639	56,233	54,910	40,544	45,712
	二酸化炭素（中部）	Kg-CO ₂							44,619	42,200	39,747	20,916	43,906	51,565	66,431	38,723
	二酸化炭素（神戸）	kg-CO ₂							26,803	26,081	24,498	22,488	25,505	21,730	22,448	24,315
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t														
	公共用水域への排出	t														
	土壌への排出	t														
⑥ 総製品生産量又は 総製品販売量	製品生産量	t														
	環境負荷低減に資する製品	t														
	容器包装使用量	t														
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	KG														
	再生利用	KG														
	熱回収	KG														
	単純焼却	KG														
	その他	KG														
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量（東京支店）	kg										800.00				
	最終処分量（中部支店）	kg										803.00				
	最終処分量（神戸本社）	kg										906.44				
⑧ 産業廃棄物	最終処分量（東京支店）	kg										12.6				
	最終処分量（中部支店）	kg										12183.0				
	最終処分量（神戸本社）	kg										178.5				
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m ³														
	下水道	m ³														
	BOD	g														

※排出係数：東京電力 0.491 Kg-CO₂/kWh / 中部電力 0.482 Kg-CO₂/kWh / 関西電力 0.496 Kg-CO₂/kWh
<https://www.env.go.jp/press/files/jp/104428.pdf>